

(リスクアセスメント) エリアごみ処理 作業手順書

会社名	中日本ハウエイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年11月8日	軽トラック	計量器	保護メガネ、マスク、手袋	
改訂日	令和6年12月2日				
作成者	大久保				
必要資格等	運転免許(準中型以上)			作業人員	2~3名
備考					その他

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が			対策後			参 考 図 (写 真 等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価			
<b>準備工</b>		<b>作業前ミーティング</b>												
	1	保護具の確認	手袋の破損による負傷する	2	2	4	厚手手袋(防針)、マスク、汚れ防止エプロン着用	全員	1	2	2	 <p align="center">分別作業</p>		
	2	分別台、分別容器、ごみ袋、秤準備	分別のミスが起こる	2	1	2	分別台の周囲の整理整頓(回収ごみ袋が混載しないように)床面の仮置き物品に踏かないように十分注意する	全員	1	1	1			
	3	ごみ収集作業員の健康確認	作業中に体調悪化し、それに起因する事故につながる	2	1	2	軽トラックは有資格者が扱う(免許証携帯と助手の配置、アルコールチェック)	全員	1	1	1			
	4	エリアの回収箇所の確認	駐車位置に苦情をもらう可能性と駐車を取られる可能性がある	2	1	2	駐車位置を確認する(時間帯により駐車が難しい箇所あり対策を想定する)。	全員	1	1	1			
	5	車両・道具・保護具の動作、数量確認	作業道具破損により、事故を起こす可能性がある	2	1	2	車両の始業点検(運転日報記録、冬期タイヤ着装)手袋・マスクの着用	全員	1	1	1			
<b>本作業</b>		<b>清掃作業</b>												
	1	分別台へごみを開ける <写真①>	散らばり作業に支障をきたす	2	1	2	粉塵の吸引、手指のケガに注意(注射針、刃物)	全員	1	1	1	 <p align="center">ごみ運搬車両</p>		
	2	種類別に仕分(可燃・不燃・カン・ビン・ペット・古紙・粗大)各エリアごとに分別の条件を遵守	処分業者から受け入れてもらえない可能性がある	2	1	2	駐車位置の確認(時間帯により駐車が難しい箇所あり対策を想定する)。袋の破損の無い程度の量とする	全員	1	1	1			
	3	不審物に注意	爆発物等の可能性がある	2	1	2	触れない開封しない、必要に応じて関係機関へ報告する	全員	1	1	1			
	4	各エリアのごみ仮置き場付近に駐車し、ゴミを積み込む	お客様の邪魔になる可能性がある	2	1	2	駐車位置はお客様の迷惑にならない場所とする。エリア内の移動は誘導員配置	全員	1	1	1			
	5	積んだごみは可燃物は市の処理場へ、不燃物は上郷仕分場に 仮置きする。	荷崩れしお客様にあたる可能性がある	2	1	2	荷崩れ、飛散防止の措置を行なう	全員	1	1	1			
	6	ゴミの数量を調書に記載する		1	1	1	カート等で車両に積み込む際は、お客様の動きに注意し作業を行う	全員	1	1	1			
		<b>運搬作業</b>												
	7	回収ごみをトラックにて運搬する <写真②>	荷台から物が落下する可能性がある	2	1	2	荷台から荷物の飛散の防止措置をおこなう後方のシートを確実に締めるてから移動する	全員	1	1	1			
	8	ごみ処理(移動・回送)は法令順守	バック時に事故を起こす可能性がある	2	1	2	車両の後退時には誘導員を配置する法定速度を守る(助手は運転手をサポートする)	全員	1	1	1			
			一般道通行時の事故	2	2	4	慌てず左右確認を行い交通ルールを厳守する	全員	1	2	2			
<b>片付け</b>		<b>片付け</b>												
	1	分別場の整理整頓(堆積注意)	ゴミ分別場の散らかりにより作業が進まなくなる	2	1	2	ごみの整理整頓、作業場の水洗い清掃は毎回実施	全員	1	1	1			
	2	ごみ計量を行う		1	1	1	発生量を記録する	全員	1	1	1			
	3	使用した車両・資機材の清掃<写真②>	パーストやボルトの脱落などの可能性がある	2	1	2	終業点検(タイヤ・投光類)と洗車は毎回実施異状があれば速やかに報告する	全員	1	1	1			

分別後ごみ保管ヤード